

農林水産省：「知」の集積による産学連携支援事業

令和6年度事業化可能性調査課題：植物の免疫機能の発現・強化とその生産性増加に関する事前検討

事業化可能性調査ワークショップの開催次第（案）

1. 日時：令和6年10月16日（水）13：00－17：00

2. 開催場所：AP名古屋 13：00に受付8Fにお越しください。

AP名古屋：名駅IMAIビル 6F・7F・8F（受付8F）

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25

【電話】 052-561-1109 【FAX】 052-561-2109

【E-mail】 ap-nagoya@tc-forum.co.jp

【URL】 <https://www.tc-forum.co.jp/ap-nagoya/>

3. 方法：会場開催

ワークショップ進行：NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

4. ワークショップ

・趣旨説明	13:00-13:20
-------	-------------

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局長 岩佐 精二

・植物の免疫力について（仮題）	13:20-14:20
-----------------	-------------

名古屋大学大学院生命農学研究科 竹本 大吾 氏

・バイオスティミュラントについて（仮題）	14:20-15:20
----------------------	-------------

株式会社レゾナック基礎化学品事業部 齋藤 信 氏

—休憩—

15:20-15:30

・農林水産省プロジェクト申請について	15:30-16:00
--------------------	-------------

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局長 岩佐 精二

・全体討議・今後の予定	16:00-17:00
-------------	-------------

5. その他 参集範囲

事業化可能性調査委員、関係者